

埼玉県景気動向指数

平成29年12月分の概要

平成30年2月28日

埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

2 指数の動き

- 12月のC Iは、先行指数：97.0、一致指数：129.6、遅行指数：117.7となった。（平成22年=100）
- 先行指数は、前月と比較して2.4ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は、0.04ポイント下降し、5か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は、0.93ポイント上昇し、17か月連続の上昇となった。
- 一致指数は、前月と比較して2.6ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は、0.24ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.13ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- 遅行指数は、前月と比較して0.5ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.46ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.08ポイント上昇し、9か月連続の上昇となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	1.38	C9: 県耐久消費財出荷指数	-0.66
C4: 県有効求人倍率(除学卒)	1.05	C7: 県百貨店・スーパー販売額	-0.12
C8: 県生産財出荷指数	0.54	C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	-0.03
C1: 県生産指数(製造工業)	0.28	C3: 県投資財出荷指数	-0.01
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	0.16		

※ 各個別系列のウェイトは均等である。

4 一致指数の推移

